チケット料金

第1回、第3回～第6回　S席：7,000 円　A席：6,000 円　B席：5,000 円

第2回　S席：4,500 円　A席：3,500 円　B席：3,000 円

特別講座　全席指定：2,000 円

セット券（第1回～第6回）

S席　39,500 円　A席：33,500 円　B席：28,000 円

※セット券をお申し込みの方は、11 月 10 日開催の特別講座を無料でお申し込みいただけます。

※セット券は、電話・窓口のみの取り扱いです。

※セット券の数には限りがございます。

チケット発売：6月16日（土）正午より（初日は電話・WEB のみ

※電話予約開始日にチケットが売り切れた場合、窓口での販売はありません。

お申込み・お問合せ：横浜能楽堂　045−263−3055

〒220−0044　横浜市西区紅葉ケ丘 27−2

http://www.ynt.yaf.or.jp

主催　横浜能楽堂（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

助成　平成３０年度　文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

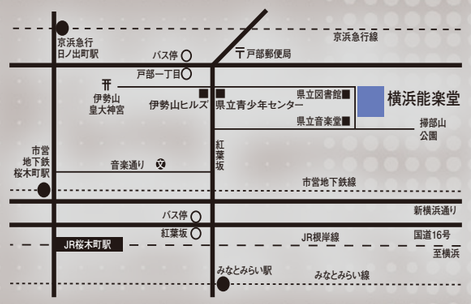
独立行政法人日本芸術文化振興会

**特別展開催：いま最も注目される画家山口晃の修羅をテーマとした絵画作品とインスタレーションをお楽しみください。**

**展示期間：平成３１年1月19日（土）～平成３１年3月23日（土）（予定）**

※会期中、休館日以外にご覧になれない日がございます。お問い合わせの上、ご来場ください。




交通のご案内

■電車利用／ＪＲ根岸線・市営地下鉄線「桜木町」駅下車徒歩15分／みなとみらい線「みなとみらい」駅下車徒歩２０分／京浜急行「日ノ出町」駅下車徒歩18分（タクシー利用は各駅共約5分）■バス利用／戸部1丁目（市営バス103、292系統）下車徒歩5分／紅葉坂（市営バス8、26、58、101、105、106系統／神奈中バス横43、横44、港61系統／江ノ電バス大船駅行、栗木行、京急バス110系統）下車徒歩10分

※駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。※内容・出演者に変更がある場合がございます。あらかじめご了承下さい。※会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。※お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。※公演中止の場合に旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

〒220-0044 横浜市西区紅葉ケ丘27-2　tel:045-263-3055

http://www.ynt.yaf.or.jp

横浜能楽堂企画公演

# 風雅と無常

## 修羅能の世界



**第１回「青葉の笛」**

**平成30年9月22日（土）**

開場：午後１時　開演：午後２時

神楽　神楽笛　「庭火」安齋　省吾

管絃　盤渉調　「青海波」豊　英秋ほか

能　「敦盛 二段之舞　脇之語」（観世流）観世　喜正

**第2回「修羅能と狂言」**

**平成30年10月7日（日）**

開場：午前１０時　開演：午前１１時

語　「那須」（大蔵流）山本　則俊

狂言　「薩摩守」（大蔵流）茂山七五三

狂言　「通円」（和泉流）野村　万作

**第3回「名器・青山」**

**平成30年12月22日（土）**

開場：午後１時　開演：午後２時

琵琶　秘曲　「啄木」豊　靖秋

管絃　双調　「陵王」豊　英秋ほか

能　「経正 古式」（金剛流）金剛　龍謹

**第4回「生田の梅」**

**平成31年1月20日（日）**

開場：午後１時　開演：午後２時

トーク　「自作を語る」山口　晃　聞き手：竹平　晃子

能　「箙」（観世流）梅若　紀彰　／　美術：山口　晃

**第5回「無常」**

**平成31年2月16日（土）**

開場：正午　開演：午後1時

能　「朝長」（観世流）梅若　実

相国寺僧侶による観音懺法会入り

**第6回「和歌の徳」**

**平成31年3月23日（土）**

開場：午後１時　開演：午後２時

披講　宮中披講会

能　「忠度」（観世流）観世銕之丞

**特別講座「修羅能の世界を語り合う」**

**平成３０年１１月１０日（土）**

**開場：午後１時　開演：午後２時**

**講演：馬場あき子**

**鼎談：山折　哲雄、寺内　直子、仲　隆裕**

**聞き手：葛西　聖司**

横浜能楽堂

横浜能楽堂企画公演

# 風雅と無常―修羅能の世界

能には、「修羅能（二番目物）」と呼ばれる曲が数々ある。「修羅能」は、源平の武将らを主人公として合戦の有様を描きながら、無常観など仏教思想を背景に人間の苦しみや悲しみを描き出すが、武将たちの風雅な一面を感じさせる曲も多く、その対比によって作品のもつ悲劇性が一段と際立つ。

今回の企画公演では、武将たちの風雅な一面が感じられる「修羅能」の名曲を6回シリーズで送る。各回それぞれの曲にまつわる雅楽の演奏や、和歌の披講、観音懺法の法要などを上演し、当時の武将たちのもつ風雅さと、闘いの果ての無常さをより深く体感できる公演となっている。

また、公演に併せて特別講座を開催。講演に続き、多角的な視点で鼎談を行い、当時の日本人の思想や文化、生活様式等を紐解き、「修羅能」の世界を掘り下げていく。

## 第1回「青葉の笛」

**平成30年9月22日（土）**

午後2時開演

平敦盛は、『平家物語』の中で笛の名手であり美少年として語られる人物。敦盛は霊の姿で現れ、平家一門の栄枯盛衰を語り、平家最後の宴を懐かしむ舞を舞う。合戦の有様を再現するが、修羅の苦しみの中にも風雅で可憐な趣が感じられる曲だ。雅楽の神楽笛の独奏なども行われる。

神楽　神楽笛「庭火」安齋　省吾

管絃　盤渉調「青海波」

笙：豊　英秋
篳篥：大窪　永夫
龍笛：安齋　省吾
琵琶：豊　靖秋

能「敦盛 二段之舞　脇之語」（観世流）

シテ（草刈男・平敦盛）観世　喜正
ツレ（草刈男）馬野　正基
ツレ（草刈男）谷本　健吾
ツレ（草刈男）川口　晃平
ワキ（蓮生法師）髙井　松男
アイ（浦人）奥津健太郎

笛：一噌　隆之
小鼓：古賀　裕己
大鼓：安福　光雄
後見：観世　喜之　加藤　眞悟
地謡：観世銕之丞　西村　高夫
観世　淳夫　中森　貫太
鈴木　啓吾　佐久間二郎
坂　真太郎　中森健之介

## 第2回「修羅能と狂言」

**平成30年10月7日（日）**

午前11時開演

修羅能の主人公である武将たちは、狂言にも登場する。屋島の合戦で那須与一が扇の的を射落としたことを仕方話で語る語「那須」、「ただ乗り」と「薩摩守忠度」をかけた秀句が面白い狂言「薩摩守」、能「頼政」の宇治橋合戦の詞章を模してつくられた狂言「通円」。狂言においても武将たちは様々な描かれ方をされている。

語「那須」（大蔵流）山本　則俊
後見：山本　則秀

狂言「薩摩守」（大蔵流）

シテ（出家）茂山七五三
アド（茶屋の亭主）網谷　正美
アド（船頭）茂山　逸平
後見：島田　洋海

狂言「通円」（和泉流）

シテ（通円）野村　万作
ワキ（東国の僧）石田　幸雄
アイ（所の者）野村　遼太

笛：竹市　学
小鼓：田邊　恭資
大鼓：柿原　光博
後見：月崎　晴夫
地謡：高野　和憲
中村　修一
破石　晋照
岡　聡史

## 第3回「名器・青山」

**平成30年12月22日（土）**

午後2時開演

平経正は、平家一門を統べた平清盛の甥にあたる人物。才気豊かな貴公子であり、琵琶の名手として名を馳せた。今回の公演では、本物の琵琶が登場する「古式」で演じられる。平安時代の貴族社会で深く浸透していた楽琵琶の秘曲などの演奏も併せて行われる。

琵琶　秘曲「啄木」豊　靖秋

管絃　双調「陵王」

笙：豊　英秋
篳篥：大窪　永夫
龍笛：安齋　省吾
琵琶：豊　靖秋

能「経正 古式」（金剛流）

シテ（平経正）金剛　龍謹
ワキ（僧都行慶）工藤　和哉

笛：杉　市和
小鼓：幸　正昭
大鼓：亀井　広忠
後見：金剛　永謹　豊嶋　幸洋
地謡：松野　恭憲　豊嶋　晃嗣
宇髙　徳成　坂本立津朗
元吉　正巳　遠藤　勝實
山田　伊純　熊谷　伸一

## 第4回「生田の梅」

**平成31年1月20日（日）**

午後2時開演

「勝修羅三番」の一つ。梶原源太景季は、源頼朝に重用された梶原平三景時の嫡男で、若武者ながら多くの武功を上げた。一の谷の合戦で、色の異なる花をつけた梅の枝を箙に挿したという挿話が物語のもとになっており、日本人ならではの花に寄せる想いを主題としている。通常の演出では登場しない梅の作り物を、画家の山口晃が特別に制作する。

トーク「自作を語る」山口　晃
聞き手：竹平　晃子

能「箙」（観世流）

シテ（男・梶原源太景季）梅若　紀彰
ワキ（旅僧）森　常好
ワキツレ（従僧）舘田　善博
ワキツレ（従僧）森　常太郎
アイ（所の者）松本　薫

笛：杉　信太朗
小鼓：成田　達志
大鼓：柿原　崇志
後見：山中　迓晶　谷本　健吾
地謡：柴田　稔　鷹尾　維教
伊藤　嘉章　鷹尾　章弘
角当　直隆　永島　充
長山　桂三　内藤　幸雄

美術：山口　晃

## 第5回「無常」

**平成31年2月16日（土）**

午後1時開演

「三修羅」の一つ。朝長に縁のある旅僧が、朝長の弔いのために美濃の青墓を訪れ、敗戦の果てに自害した朝長への追慕哀傷を語る。僧が観音懺法の法要を勤めると、朝長の霊が現れ自害の有様、修羅道の苦しみ、弔いへの感謝を物語る。仏教的無常観が濃厚な「朝長」を、今回初めての試みとして、相国寺の僧侶たちによる観音懺法会の法要を特別に取り入れて上演する。

能「朝長」（観世流）
相国寺観音懺法会入り

前シテ（青墓の長者）梅若　紀彰
後シテ（源朝長）梅若　実
ツレ（侍女）山中　迓晶
トモ（従者）山中　景晶
ワキ（旅僧）殿田　謙吉
ワキツレ（従僧）則久　英志
ワキツレ（従僧）野口　琢弘
アイ（長者の下人）山本泰太郎

笛：藤田六郎兵衛
小鼓：曽和　正博
大鼓：河村　大
太鼓：小寺　佐七
後見：小田切康陽　永島　充
地謡：観世　喜正　山崎　正道
馬野　正基　角当　直隆
坂　真太郎　谷本　健吾
川口　晃平　内藤　幸雄

懺法：相国寺僧侶

## 第6回「和歌の徳」

**平成31年3月23日（土）**

午後2時開演

平忠度は、武勇の誉れ高い武将でありながら優れた歌人としても知られる人物である。能「忠度」は、忠度の歌道への執心を、『源氏物語』でも有名な名所須磨の桜を印象的に取り込んで表現した、美しくも儚い修羅能だ。宮中の歌会始に奉仕する宮中披講会が、修羅能に縁の公達が詠んだ和歌を詠み上げる。

披講　宮中披講会

能「忠度」（観世流）

シテ（老人・平忠度）観世銕之丞
ワキ（旅僧）福王茂十郎
ワキツレ（従僧）喜多　雅人
ワキツレ（従僧）矢野　昌平
アイ（里人）内藤　連

笛：一噌　庸二
小鼓：観世新九郎
大鼓：國川　純
後見：清水　寛二　谷本　健吾
地謡：浅見　真州　西村　高夫
柴田　稔　馬野　正基
浅見　慈一　長山　桂三
青木　健一　観世　淳夫

## 特別講座「修羅能の世界を語り合う」

歌人・馬場あき子による修羅能における和歌をテーマにした講演に続き、修羅能の主人公である公達や武将の精神文化の形成に大きく関わる、宗教・雅楽・日本庭園を取り上げ、各専門家による多角的な視点で鼎談を行い、当時の日本人の思想や文化、生活様式等を紐解き、修羅能の世界を掘り下げていきます。

**平成30年11月10日（土）午後2時開演**

**講演「修羅能と歌」**　馬場あき子（歌人）
**鼎談「公達の精神文化」**　山折　哲雄（宗教学者）、
寺内　直子（神戸大学教授 雅楽研究）、
仲 隆裕（京都造形芸術大学教授 庭園研究）
聞き手：葛西　聖司